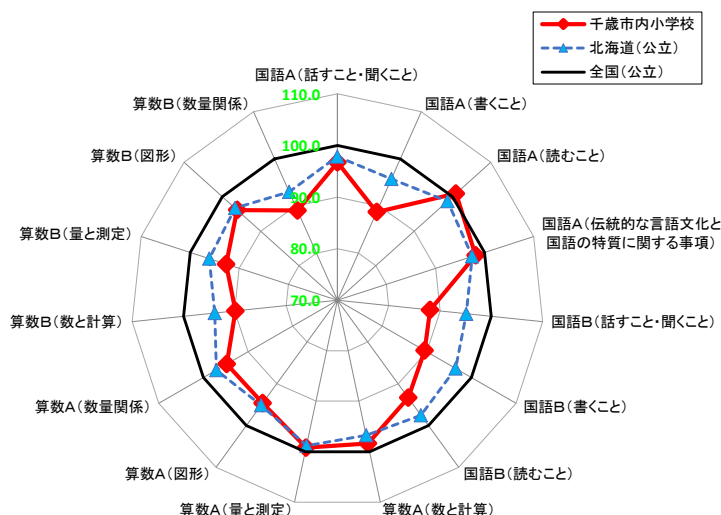


■千歳市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:16、児童数:842名)

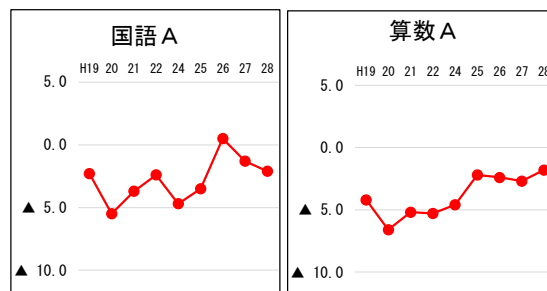
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

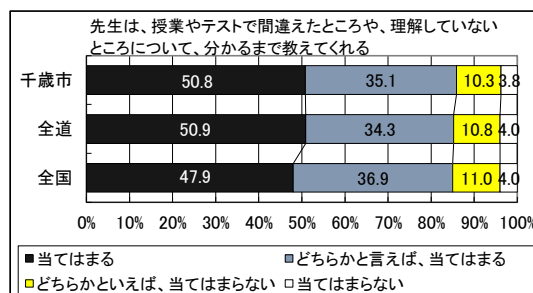


【平均正答率の全国との差の推移】

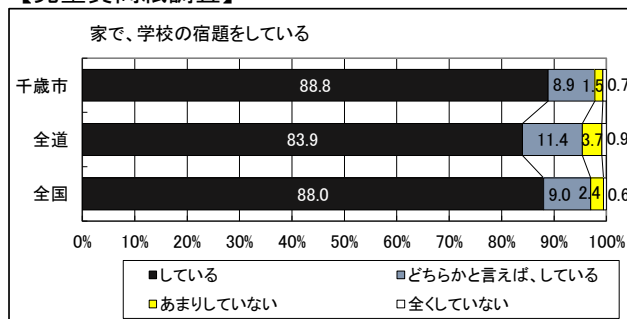


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

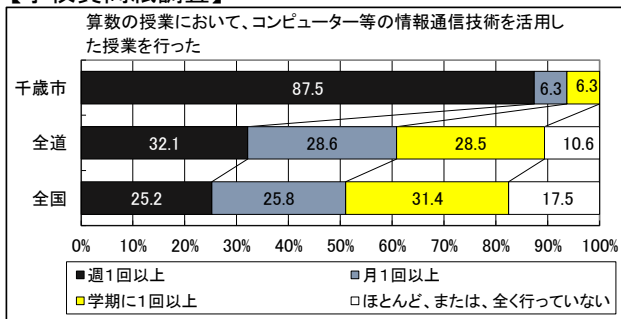
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数Aでは、全道を上回っている。 ○ 国語Aでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、算数Aでは、「数と計算」、「量と測定」で全道を上回っている。	○ 宿題の提供など市内統一の取組が各学校で徹底され、教員が学習内容を分かるまで教えていることにより、前年度と比べ、算数Aの学習内容の定着状況が改善したと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 市の学力向上策である算数の練習問題の提供により、算数Aの平均正答率の全国との差の推移が、改善傾向にあると考えられる。
学校質問紙	○ 「算数の授業において、コンピューター等の情報通信技術を活用した授業を週1回以上行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【千歳市の学力向上策】

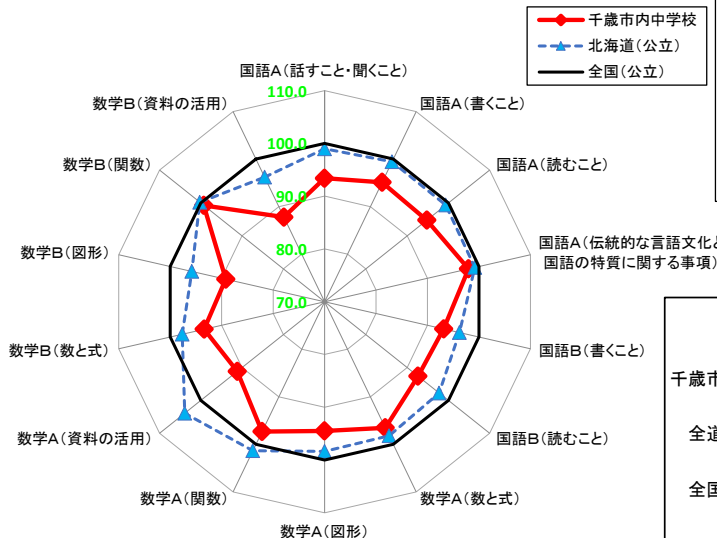
- ◎ 全学校・全学級への電子黒板及び実物投影機の配置、デジタル教科書の導入など、学校のICT環境の整備
- ◎ 算数、数学科の練習問題の提供
- ◎ 学習支援員による習熟度別少人数指導の充実、特別支援教育支援員の配置、学校図書館司書の配置
- ◎ 学生ボランティアを活用した放課後の学習サポート事業及び長期休業中の補充学習の充実

■千歳市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:8、生徒数:847名)

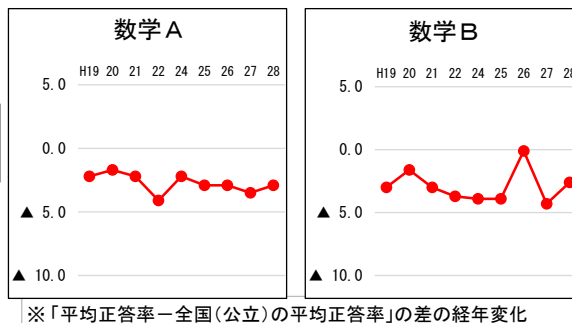
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

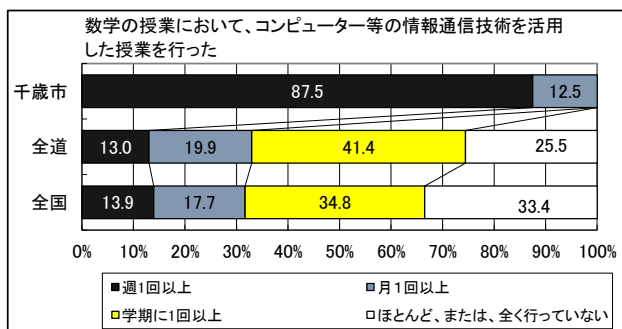
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



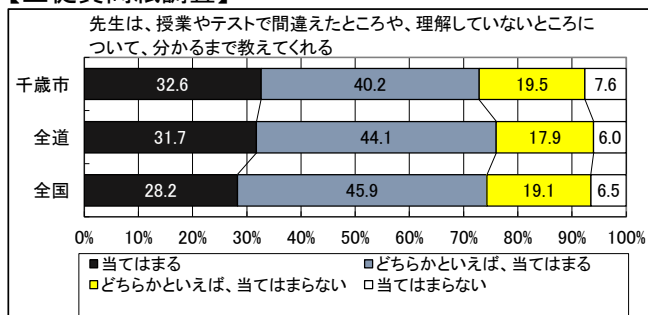
【平均正答率の全国との差の推移】



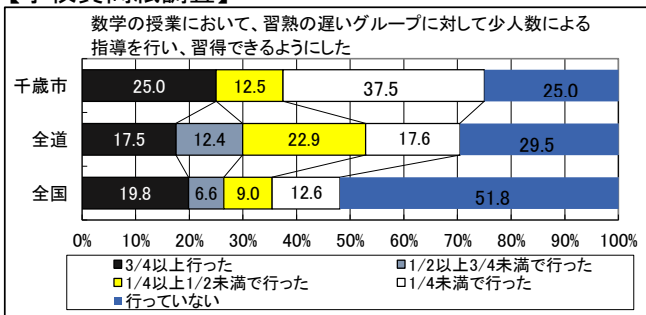
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 数学A・Bでは、全国の平均正答率より低い、平成27年度と比べると改善している。 ○ 数学Bの「関数」では、全国及び全道とほぼ同様になっている。	○ 数学で、関数や図形領域で電子黒板等の機能を十分に生かした指導を行うとともに、他教科でも日常的にコンピューター等の情報通信技術を活用していることにより、学習内容の定着につながっていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 市の学力向上策である補充学習を充実させたことにより、「先生は、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【千歳市の学力向上策】

- ◎ 全学校・全学級への電子黒板及び実物投影機の配置、デジタル教科書の導入など、学校のICT環境の整備
- ◎ 中学校区における「家庭学習の手引」の作成
- ◎ 学習支援員による習熟度別少人数指導の充実、特別支援教育支援員の配置、学校図書館司書の配置
- ◎ 学生ボランティアを活用した放課後の学習サポート事業及び長期休業中の補充学習の充実